

---

# モンスターズ・ナイト外伝 - 残月の末路人 -

神夏美樹

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

モンスターズ・ナイト外伝 - 残月の末路人 -

### 【Nコード】

N7398Y

### 【作者名】

神夏美樹

### 【あらすじ】

書籍化発売ありがとうございます記念

モンスターズ・ナイト外伝

- 残月の末路人 -

源氏と平氏の闘いは

心の痛む結末だった

若い武将は笛の音を残して

海岸に散り行く

菜美はその様子を黙って見守るしか

なかった。

サザナミに響く青葉の笛は月夜を悲しく煌めかせ、降る様な星空は戦とは異なる淡き思いを響かせ、静かに地上を見守り続ける。戦場でなお雅を尊ぶ薄化粧の若き武将は、初陣の篝火に照らされて、その影をゆらゆらと揺らめかせ、明日の心に一抹の不安と抑えきれない猛りを纏いつつ、無の境地を求め空しく地上に彷徨う。

幼すぎると言っても過言では無い若い心を無骨な鎧で隙無く包み、明日の今頃、自分に命が有る事が保障されていない危うく儂い運命に無情の想いを馳せる。

この戦が、我身を滅ぼす事になったとしても少年は後悔する事は無いそれが自分に与えられた運命なのだから……。

夜空に響く笛の根は魔を呼ぶ事が有る。類稀なる笛の音はまごう事無き魔の物を呼び寄せたのだ。その姿を見た少年は、笛を収め、その美しさに言葉を失った。

「そなたは……」

銀色の髪の毛と透き通る様に白い肌、艶やかな深紅の唇はこの世のものとは思えない程煌びやかで漆黒の瞳は宇宙の色を映し出している様に感じられた。

人としての生は一夜限りの夢の中。後に残されるのは来世に繋がる血の記憶……

「もののけか？」

彼女の瞳は全てを見通し透明な眼差しは心に刺さる。確信ではないが若き武将にはその「気」がひしひしと感じられた。だが若き武将はそれを拒む事は無かった。渡り合うべき戦・収める戦

「私はこの世を彷徨う時の化身…」

「時を彷徨う？化身？」

彼女はゆっくりと若き武將に近付いて行く。その歩は人の物とは思えないほどたおやかに『氣』を全く感じさせなかった。

「そう、時を旅して人を見詰めるのが私の宿命…その命の行く末を見届けるのが私の務め」

若き武將は笛を収め懐にしまつと、隙の無い足取りで、ゆっくりと間合いを詰める。

「わが名は平経盛の三男、敦盛。そなた、名は何と申す？」

若き武將の言葉に彼女は眼を伏せ答える事は無かった。何故ならば、自分には名乗るべき名が無かったからだ。

「名乗る名は無いと申すのか？」

彼女はゆっくりと瞳を閉じ小さく一度頷いた。そしてまるで凧ぎの海を思わせる様にたおやかな歌をうたい始める。若き武將はその声に心を魅かれ、魂を吸いとられそうになる感覚に背筋が冷え、太刀に手をかけ引き抜こうと身構える。しかし、その歌声は魂を吸い取るのでは無く温める為の歌だと気付き、再びその場に立ち尽くした。

「あなたの命は、明日の今頃この世に無い。でも、今、この場を去れば少なくとも命を取られる事は無い筈…」

しかし若き武將は彼女に向かつて堂々と言った。

「武人の誇りを持って旅立つわが心は無である。死など取るに足りない事。人間たかだか五十年の命、それを惜しんでなんとするか…」

「あなたの身の滅びは平氏の滅亡…それでも、この場に留まると…」

「武人の言葉に二言は無い」

その言葉を聞いた彼女は再び静かに歌い始める。若き武將の心を鎮めるかの様にたおやかに。そしてゆっくりと目を閉じる。

彼女は若き武將の頬に手を当て優しく口付する。その唇は柔ら

かく、暖かく、確かに生きて居る事を感じる事が出来た。

波の音だけがあたりを包む。月夜の空は、これからこの星が滅びるまでの間、地上を見詰めつでけるだろう。

彼女はゆっくりと若き武将から離れると、寂しそうにこう言った。「悔いが残らない様に生きるといい…… たった一度しか無い命の温もりぬくに感謝して……」

彼女はそう言つと、光の粉と共に若き武将の前から消え去つた。

「悔いなど、残す物か……」

若き武将は砂浜に視線を落とし少し震える唇でそう呟くと、懐から笛を取り出し再びそれを奏で始めた。

笛の音は闇夜と海の波に混ざり、儚く消えて行く。若き武将の心は、無なのか……それは、誰にも知る事は出来なかつた。そして打ち寄せる波もなにも語らなかつた。

モンスターズ・ナイト外伝 - 残月の末路人 - End

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7398y/>

---

モンスターズ・ナイト外伝 - 残月の末路人 -

2011年11月22日02時56分発行